

綾部孝一 絵のなかのコンサート

＜プログラム＞

シューマン作品集

ピアノ独奏

「子供の情景」

「交響的練習曲」

ピアノ伴奏付き詩朗読

「美しいヘドヴィヒ」

バリトン独唱

「詩人の恋」

ピアノ：綾部孝一

朗読：鈴木千慧

バリトン：碓氷秀和



シューマンが学生生活を送った古都ハイデルベルグ

岡村参次氏の絵を飾って (ヨーロッパの風景・日立の風景)

2025 7月6日(日)

14時開演 13:30分開場

日立シビックセンター 多用途ホール

チケット ¥2,000 (前売券のみ 当日券なし)

チケット発売は5月1日から

《チケット取り扱い》

日立シビックセンター 0294-24-7720

多賀市民会館 0294-34-1727

主催：綾部ピアノ教室

お問い合わせ：綾部 (090-6702-1319)

E-メール：ko-1tastengreifer@ezweb.ne.jp

協賛：茨城県通訳案内士会

月刊「スペース・マガジン」

綾部 孝一（あやべこういち）

日立市出身。武蔵野音楽大学卒業。ウィーン国立音楽大にてピアノ・室内楽・チェンバロを学び、ピアノ演奏科卒業。1985年1月1日、ウィーン・キュンストラーハウス主催「バッハ・ヘンデル・スカルラッティ生誕300年記念」ニューイヤーコンサートにてデビュー。ウィーンにてピアニスト、チェンバリストとして活動の後帰国。ヤマハ音楽振興会にてピアノプレーヤーのレコーディングに従事、9枚のアルバムがヤマハ株式会社より発売される。ウィーンその他、スペイン（サンタンデル、バルセロナ）、アメリカ（ケンタッキー、バージニア、テネシー）にてリサイタル開催。1993年モンボウ生誕100年記念演奏会出演（スペイン、バルセロナ）。1996、97、98年恩師アールグリム教授追悼演奏会出演（ウィーン）。2000年ミレニアム記念「ヘンデル・メサイヤ全曲演奏会」（東京文化会館大ホール）にてチェンバロ演奏。高崎芸術短期大学、創造学園大学にて後進の指導。現在は自宅での指導の他、演奏活動を続けている。ドイツ語全国通訳案内士（茨城県通訳案内士会メンバー）

碓氷 秀和（うすいひでかず）

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。その後オーストリア留学、ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学にて研鑽を積む。エリザベート・シュヴァルツコップ、ヴァルター・ペリーに指導を受ける。モーツアルテウム・オペラ科を卒業。リート・オラトリオ科を最優秀（首席）で卒業。帰国後はドイツリートを中心に演奏活動。モーツアルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、シューベルト「ト長調ミサ」、フォーレ「レクイエム」、ブラームス「ドイツレクイエム」、ベートーヴェン「第九」等のソリストをつとめる。シューベルト「生誕200年記念アルバム」「冬の旅」、ドイツ・日本歌曲集「ビロードの夢」等のCD作成。1990～2021年東京純心女子中学・高等学校勤務。

鈴木 千慧（すずきちさと）

日立市出身。日立北高等学校卒業。日本大学芸術学部映画学科演技コース卒業。パフォーマンスユニット・千年企画に所属。主な出演作として、ゆうくんとマツさんの「シップ船長とイルカのイットちゃん」、水戸演劇フェスティバル実行委員会プロデュース「リトルウエッジの魔女」千年企画「パピリオン」。またFMぱるるんラジオパーソナリティとして「月曜commune」に出演している。

岡村 参次（おかむらさんじ）

1933年東京に生まれる。1998年日立製作所退職後、独学でペンの線を活かしたスケッチを始める。現在「NPO法人東京を描く市民の会」常任理事。「日立をスケッチする会」代表。ペンと水彩スケッチ教室主宰。ペンスケッチ画の個展を6回開催。銀座ニッタ画廊、京橋ドウ画廊、大谷美術館、他。絵と随筆の「マンハッタン72丁目の休日」出版（1997）「ペンをもってスケッチ旅へ」出版（2023）海外スケッチ：NY、東南アジア、フランス、ドイツ、イタリアなど10数回。